

新入生教務ガイダンス

地域共創学部 観光学科

学生証をICカードリーダーにかざしてください。

※ 学生証を忘れた方は、出席カードを配りますので、ガイダンス終了時に提出してください。



新入生教務ガイダンス

地域共創学部 観光学科 1年次

大学入学後は、分からないことが多いが、『何が分からないのかを知ること』そして、分からないことは必ず聞くこと。

配布物の確認

1. 配付書類及び解説
2. 新入生オリエンテーション等日程表
3. 学生便覧
4. 履修ガイド(各学部別)
5. 履修ガイド(K'sLife利用ガイド)
6. 授業時間割表
7. 教職課程について
8. 創立60周年記念オリジナルEdyカード及びチラシ
9. 教科書購入一覧表
10. 教科書購入申込書(OCR)
11. 外国語学習の手引き2020
12. Campus
13. 学友会ハンドブック
14. 若いときから知っておくべきお酒のこと
15. 基礎から学べる金融ガイド
16. 薬物乱用防止リーフレット
17. ごみルールブック
18. 大切なあなたを守るために・・・福岡県警察
19. 定期健康診断日程表
20. 学生教育研究災害傷害保険のしおり
21. お金の心配なく学びつづけたい学生のみなさんへ
22. 国際交流センター報(JUNCTION)
23. キャンパスハラスメント冊子
24. 九州産業大学美術館展覧会スケジュール2020-2021
25. 九州産業大学美術館展覧会「家具をつくる一暮らしを語るデザイン」チラシ
26. 九州産業大学資格取得講座等総合案内
27. 大楠アリーナ2020パンフレット
28. 入学直後アンケート

封筒の中に、
「配付書類及び解説」(A4縦1枚)
に記載されているものが、すべて
入っているか確認してください。

まず初めに

高校と大学の違い

大学生は、自己責任！！

項目	高校	大学
クラス制及びクラス担任	あり(1クラス10人~20人程度)	あり(クラス担任は、1年次のゼミナールの担当教員)
HR/朝礼	あり	なし(大学からの連絡や情報は、K'sLife、教務部HP、掲示板に掲載します。)
学期制	基本的に3学期制	2学期制(前学期・後学期)
休み期間	8月、12月下旬~1月上旬、3月末	8月上旬~9月上旬、12月下旬~1月上旬、2月~3月
授業時間	50分	100分
1科目の授業回数	週数回	基本的に週1回
授業形態	「クラス」単位で着席位置を決められていることが多い。クラスごとの時間割に合わせ、各教科の先生が授業を行う。	基本的に着席は自由です。(中には着席位置が決められている授業もあります。) ①講義:先生が学生の前で授業する。 ②実習・実験:先生からの課題などについて実習・実験する。 ③ゼミナール:少人数制で、課題から自分で発表するテーマを決め、各自で調査し、みんなの前でプレゼンテーション(発表)などを行う学生中心の授業。

まず初めに

高校と大学の違い

大学生は、自己責任！！

項目	高校	大学
履修(時間割)	決まっている (クラスで共通)	決まっていない(自分で登録する) 自分の興味や、取得したい資格及び将来設計に合わせ、時間割を作成する卒業要件を確認した後、年次別授業科目配当表及び授業時間割表の中から、自分の学修したい科目を選択する。
教室	クラスで決まっている	授業科目毎に決まっている。 選択した授業の教室に自分が行きます。科目によって、教室の規模が異なります。(30名～多い教室では500名超座席があります)
出欠	取る	取る場合がほとんどだが、取らない場合がある
欠席の連絡	必要	不要(1ヶ月以上の場合は必要)
卒業要件	基本的に学年制	単位制(124単位以上)(卒業要件を確認すること) 基本的には1年間の成績で「留年」と判断されることはありません。大学では、学修の量を「単位」として計算し、授業科目を履修して、試験に合格すると、定められた単位数を修得することができます。単位数は授業の種類によって定められているので、自分が在籍する学部の卒業に必要な単位数をしっかりと確認しながら、授業を履修することが必要です。
アルバイト	原則禁止	自由

用語説明

履修登録とは？

→自分で時間割を作成し、Web登録すること。

K'sLife（ケース ライフ）とは？

→学生教育支援・事務情報システム

個人の履修登録、成績、連絡通知を閲覧できるWebサイトのこと。

（本学のホームページより閲覧）

シラバスとは？

→授業科目の講義内容や学修計画のこと

K'sLife（ケースライフ）で閲覧可能。

※学生証

*本人確認できる身分証明書。常に携帯すること

*内蔵のICチップを破損しないよう大切に扱うこと

コロナウイルス感染症拡大に伴う 学年暦の変更について

コロナウイルス感染症拡大に伴い、本学での安全・安心な授業体制を整えるため、授業開始を**延期**します。

配布している学生便覧・履修ガイド(K'sLife利用ガイド)等に記載の学年暦(1年間のスケジュール)は**変更前**のものです。

今から説明するスライド内容については、**変更後**の学年暦をお伝えするため、本日の内容を必ず参考にしてください。

学生便覧とは

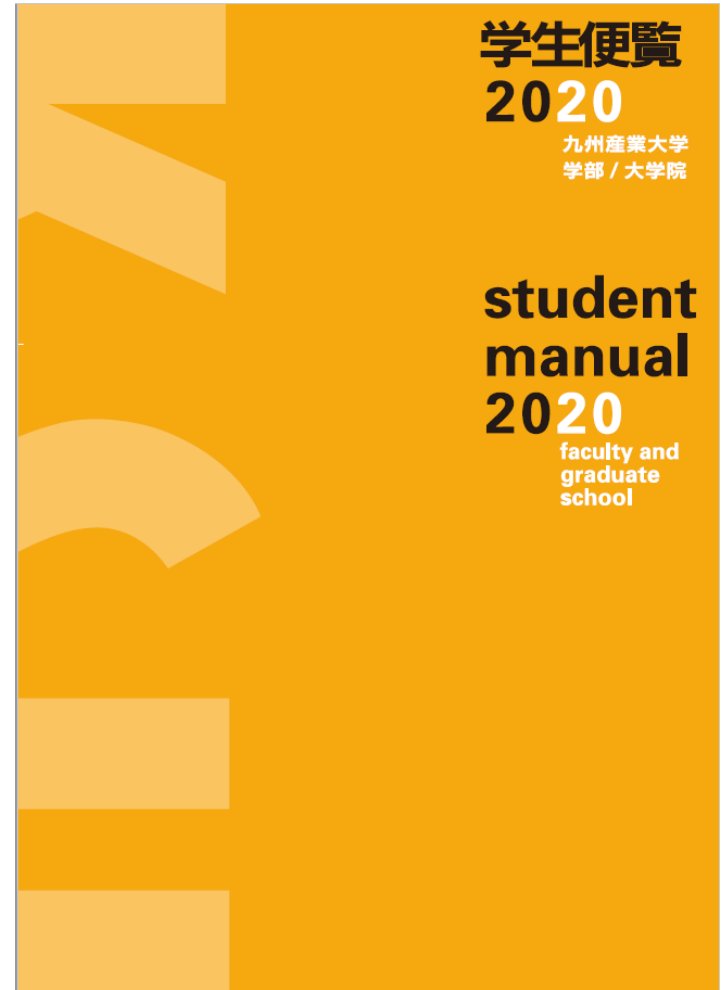
在学中、すべてのルールはこの学生便覧に基づいている。紛失しないこと。

★学年暦 (P. 1~2)

1年間のスケジュール
補講日や祝日授業日等
行事日程を掲載

★担当部所

授業・試験・履修登録
に関する事＝教務課



学年暦

授業は、**前学期13回**、**後学期14回**

4月	9月	3月
前学期	夏季休業	後学期
冬季休業		
<ul style="list-style-type: none">・前学期授業開始 4/22(水) 全13回・祝日授業実施日 4/29(水)等・7/4(土)→火曜授業・補講日(土曜日) 4/25、5/16、5/30、6/13、 6/27、7/11、7/24・前学期定期試験 7/25(土)～7/31(金)	<ul style="list-style-type: none">・後学期授業開始 9/14(月) 全14回・祝日授業実施日 9/21(月)等・12/23(水)→月曜授業・補講日(土曜日) 9/26、10/10、10/24、11/7、11/21、 12/5、12/19、1/7・後学期定期試験 1/8(金)～1/18(月)	<ul style="list-style-type: none">・冬季休業 12/24(木)～
	<ul style="list-style-type: none">・夏季休業 8/4(火)～	

前学期の成績公開日は、8月31日(月)
後学期の成績公開日は、3月10日(水)

卒業要件と単位認定方法

「学則」 大学全体に関するルール

- ・ 第15条：卒業要件（P. 8）

別表第10は、P. 62に記載。

卒業までに124単位以上必要！

- ・ 第18条：単位の認定（P. 8）

授業科目修了の認定は、筆記又は口頭による試験や
その他適当な方法によって行われます。

成績表示は

秀（S）・優（A）・良（B）・可（C）・不可（D/E）

単位修得

受験心得・学生証・教員組織

- **受験心得（P. 415）**

定期試験の受験心得。一度は読んでおくこと。

- **学生証の取扱**

本人確認できる大切なもの。常に携帯すること!!

内蔵のICチップを破損しないよう大切に扱うこと。

- **教員組織（P. 420）**

地域共創学部観光学科の専任教員は

1号館8階に研究室がある。

非常勤講師控室は1号館2階。

履修ガイドについて

履修とは



履修とは:卒業要件を確認した上で、当該学部・学科の授業科目を学修し、単位修得するために授業の受講登録をすること。

履修ガイド:本年度の履修に関する手引書講義を受ける上での注意事項が記載している。
必ず一読し、履修登録すること。

履修登録:自分の時間割を作成した上で、WEBで授業科目の履修を登録することです。学生便覧の授業科目履修規程、年次別授業科目配当表及び授業時間割表を確認すること。

履修ガイドについて

シラバス

授業科目名、授業担当教員、授業概要、授業計画、成績評価基準などを記載している。必ず、シラバスを確認した上で、履修登録すること。

K'sLifeによるWeb履修登録の際にも、シラバスを確認することができます。

科目コード	0FG2001																																
科目名	地域共創学概論																																
担当教員	真木 圭亮 湯道 裕俊 佐藤 忠文 緒方 泉 木村 俊夫 古賀 弥生 宗像 徳栄 松 龍山下 永子 横井 克典 行平 真也 瑞慶山 広大 高山 和幸																																
対象学年	1年																																
クラス	[001]																																
講義室	N303教室																																
履修学期	前期																																
曜日・時間	火4																																
単位区分																																	
授業形態																																	
単位数																																	
評価事項																																	
備考																																	
実務教員	○																																
A 授業概要/Class Outline	<p><IPおよびGPとの関連性> 本講義は、地域づくり学科のDP1およびOP1に基づいて、様々な角度からの地域共創を学ぶことを目的として設置している。</p> <p><カリキュラム上の位置付けや水準> 本講義は、地域づくり学科における最も基礎的な科目として、1年次に配当されている。</p> <p><内容> 「地域づくり」が急速に進化・変化する中、かつて地域づくりは自治体だけが主体となり行うものであった。近年では自治体だけでなく、企業やNPO法人、さらにはその地域に暮らしを営む住民が共に手を取り合って地域づくりを行うようになってきている。すなわち、地域が「共創」されるようになってきている。本講義では、地域の共創の近年の動向やその特色、そして将来的な展望について、専門領域の異なる教員が自身の専門領域の視点から解説していく。本講義を通じて、時代のまちづくりの意義、そして共創の重要性と関係性について学んでいく。</p> <p>基本的には以下のスケジュールで進行していくが、状況に応じて多少の変更が生じる場合がある。</p>																																
B 授業計画(テーマ及び学習内容)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>「地域を共創する」という考え方について学ぶ</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>世界のクリエイティブシティから、地域共創とシビックプライドを学ぶ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>地域の歴史、民俗、産業、自然科学、美術などに關する資料が集まる、知の宝庫としての博物館を活用した地域づくりを考える</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>北九州市における環境政策の歴史的展開(公害対策からSDGsまでを題材に、地域共創の実践例を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>「地域共創」を憲法と地方自治法の観点から住民自治と住民参加の角度で考える</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>農業の6次産業化を例に、農業と地域との共創について学ぶ</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>不登届とビジネスを継続・発展させている小規模な企業たちが、なぜ存続成長できているのか、その要因を考える</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>公共コミュニケーションの視点から地域の共創を考える</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>芸術文化の力を活用した地域づくりの手法やその担い手について学ぶ</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>地域祭礼の文化財指定に向けた調査事例を紹介し、地域文化のこれからの考える</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>海を活かしたまちづくりを例に、海と地域の共創について考える</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>環境問題の解決に向けた取組み事例を通じて、地域共創のあり方を探る</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>災害と開く自治体の意義を考える</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>これからの地域の共創のあり方について考える</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	「地域を共創する」という考え方について学ぶ	2	世界のクリエイティブシティから、地域共創とシビックプライドを学ぶ	3	地域の歴史、民俗、産業、自然科学、美術などに關する資料が集まる、知の宝庫としての博物館を活用した地域づくりを考える	4	北九州市における環境政策の歴史的展開(公害対策からSDGsまでを題材に、地域共創の実践例を学ぶ	5	「地域共創」を憲法と地方自治法の観点から住民自治と住民参加の角度で考える	6	農業の6次産業化を例に、農業と地域との共創について学ぶ	7	不登届とビジネスを継続・発展させている小規模な企業たちが、なぜ存続成長できているのか、その要因を考える	8	公共コミュニケーションの視点から地域の共創を考える	9	芸術文化の力を活用した地域づくりの手法やその担い手について学ぶ	10	地域祭礼の文化財指定に向けた調査事例を紹介し、地域文化のこれからの考える	11	海を活かしたまちづくりを例に、海と地域の共創について考える	12	環境問題の解決に向けた取組み事例を通じて、地域共創のあり方を探る	13	災害と開く自治体の意義を考える	14	これからの地域の共創のあり方について考える	15	
回	内容																																
1	「地域を共創する」という考え方について学ぶ																																
2	世界のクリエイティブシティから、地域共創とシビックプライドを学ぶ																																
3	地域の歴史、民俗、産業、自然科学、美術などに關する資料が集まる、知の宝庫としての博物館を活用した地域づくりを考える																																
4	北九州市における環境政策の歴史的展開(公害対策からSDGsまでを題材に、地域共創の実践例を学ぶ																																
5	「地域共創」を憲法と地方自治法の観点から住民自治と住民参加の角度で考える																																
6	農業の6次産業化を例に、農業と地域との共創について学ぶ																																
7	不登届とビジネスを継続・発展させている小規模な企業たちが、なぜ存続成長できているのか、その要因を考える																																
8	公共コミュニケーションの視点から地域の共創を考える																																
9	芸術文化の力を活用した地域づくりの手法やその担い手について学ぶ																																
10	地域祭礼の文化財指定に向けた調査事例を紹介し、地域文化のこれからの考える																																
11	海を活かしたまちづくりを例に、海と地域の共創について考える																																
12	環境問題の解決に向けた取組み事例を通じて、地域共創のあり方を探る																																
13	災害と開く自治体の意義を考える																																
14	これからの地域の共創のあり方について考える																																
15																																	
C 到達目標/Class Goal	<p>・地域づくりへの多様なアプローチについて理解できる ・「地域共創」という考え方を理解できる</p> <p><事前・事後学習について> 大学設置基準第21条第2項に「一 単位の授業科目を四十五時間の学習を必要とする内容をもって構成することを得準とし」と記載されている。本科目は1単位の授業であるため、受講時には90時間の学習が求められる。授業時間は100分×14回=21.5時間であるため、90時間から21.5時間を引いた68.5時間が、事前・事後の総学習時間となる。授業1回あたりでは、68.5時間÷14回=4.9時間/回の事前・事後学習が受講生には求められる。</p>																																
D 事前学習の内容(事前・事後学習)	<p><事前・事後学習の内容> 事前学習: 地域共創の事例について、自分なりに調べ整理しておく(2.25時間) 事後学習: 講義内容の復習(2.5時間)</p>																																
E 評価基準/Grading Criteria	地域共創学部授業科目履修規定第43条(成績評価基準)に基づき評価する。																																
F 評価方法/Grading Method	毎回の講義でのミニレポート(100%)																																
G 受講上の注意/Class Rules	・出席については受講生自身が責任を持って管理すること ・講義中は質問や意見を求めることがあるため、その機会を逃さないように集中して講義に臨むこと特に設けない。																																
H 受講制限/Prerequisite	地域共創学部のすべての科目の基礎となる重要な科目の1つであることを強く意識して履修に臨むことが望ましい。																																
I 関連する科目/Related Class																																	
J 教科書/Text	必要に応じて適宜指示をする。																																
K 指定図書/Assigned Books	必要に応じて適宜指示をする。																																
L 参考文献/Bibliography	必要に応じて適宜指示をする。																																

大学の学修（学修と学習のちがい）

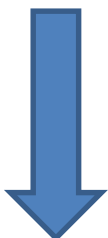
①自分で学修計画（時間割）を作成する。



②自分で履修登録を行う。



③授業を受ける。



レポート
提出



定期
試験



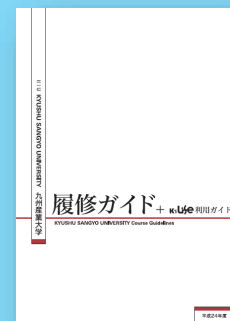
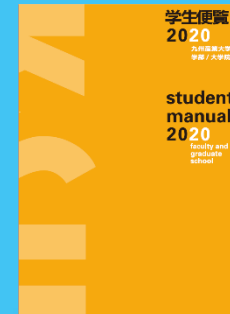
④単位を修得する。



⑤卒業に必要な単位を修得する。



⑥卒業



学生便覧・履修ガイド・
授業時間割表を参照
すること。

科目について

九州産業大学の教育課程

基礎教育科目

- 広く様々な学問を学び人間力を養う

外国語科目

- 英語・英語会話及びその他の外国語科目を学ぶ

専門科目

- 特定の分野について専門的に学ぶ（学部によって異なる）

卒業（124単位以上）

学則

卒業要件

卒業するまでに必要な単位は、124単位！！
但し、卒業要件を満たしていないといけません。

授業科目区分	授 業 科 目 及 び 単 位 数					
専 門 科 目	学科共通科目	必修科目	4単位	さらに専 門科目か ら8単位 以上	さらに 専門科目、 基礎教育科目 及び外国語科目 から16単位以上	
	コース科目	選択必修科目	36単位以上			
		選択科目	20単位以上			
実践力育成科目	16単位以上					
基礎教育科目	導入科目	12単位 以上				
	実践科目					2単位以上
	教養科目					4単位以上
心と身体 の健康科目						
外国語科目	12単位以上（英語8単位以上）					
合 計				124単位以上		

学生便覧P. 61

1年次の単位修得について(重要事項)

- ①1年次40単位以上を目安として修得すること。
 - ・1年次に20単位以上修得しないと、2年次以降の授業科目を履修できない。
 - ・1.2年次に36単位以上修得し、かつ、進級試験に合格しなければ、2年次のままとし、3年次に進級することができない。
- ②全員履修の科目は、必ず履修しなければならない。
※教務課で履修登録済
- ③地域共創学部にも所属する者は、2年次後学期終了時に進級試験、4年次後学期終了時に卒業時確認試験を受験し、合格しなければならない。

単位について

区分	*印は必修科目、△印は選択必修科目、○印は選択必修科目かつ全員履修科目、□印は選択科目かつ全員履修科目							
	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
	入門科目		基幹科目		展開・応用科目		卒業要件	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学部共通科目	九州地域学	2	地域産業基礎論	2				
	経営学入門	2						
学科共通科目	マーケティング入門	2						
	*観光学入門I	2						
	*観光学入門II	2						
	○コース入門ゼミナール	2	○ゼミナールI	4	○ゼミナールII	4	○卒業論文ゼミナール	8
	○高度化コミュニケーション入門	2	△観光データ分析	2	日本近代史	(2)		
	○地域研究入門	2	△観光中国語I	4	日本史特講A	(2)		
	○ロジカルライティング入門	2	△観光中国語II	4	日本史特講B	(2)		
	○データ分析入門	2	△観光韓国語I	4	日本史特講C	(2)		
	○情報リテラシー入門I	2	△観光韓国語II	4	西洋史	(2)		
	○情報リテラシー入門II	2	△観光英語I	4	東洋史	(2)		
△観光地理学入門	2	△観光英語II	4	社会学特講I	(2)			
△観光地理学入門II	2	△観光英語III	4	社会学特講II	(2)			
グローバル・シミュレーション			○国際観光研修A	4	△観光英語III	(4)		
			△国際観光研修B	2	△観光中国語III	(4)		
			△アジア観光基礎論	2	△Practical English	(2)		
			△コミュニケーション基礎論	2	△Practical Chinese	(2)		
			△マーケティング基礎論	2	△Practical Korean	(2)		
			△世界産業基礎論	2	△観光英語IV	4	△観光英語IV	4
			△観光英語I	4	△観光英語IV	4	△観光英語IV	4
			△観光英語II	4	△アジア観光基礎論	(2)		
			△観光中国語I	4	△観光中国語I	(2)		
			△観光中国語II	4	△観光中国語II	(2)		
学部地域学・観光			○国内観光研修A	2	△観光地域研究プロジェクト	(2)	ニコソリス論	(2)
			△社会学	2	△観光地域研究プロジェクト	(2)		
			△観光まちづくり基礎論	2	△観光地理学	(2)		
			△観光地域学基礎論	2	△観光次文化	(2)		
			△九州観光基礎論	2	△観光まちづくり論	(2)		
			△観光交通基礎論	2	△観光地域デザイン論	(2)		
			△観光史	2	△観光社会学	(2)		
			△地誌学	4	△観光政策論	(2)		
			△観光産業実習	4	△地域産業論I	(2)		
			△人文地理学	4	△地域産業論II	(2)		
観光学・観光文化			○国内観光研修B	2	△ホテルマネジメント実務実習	(2)		
			△多文化基礎論	2	△ホテルマネジメント実務実習	(2)		
			△サービス産業基礎論	2	△ホテルマネジメント実務実習	(2)		
			△観光接客基礎論	2	△ホテルマネジメント実務実習	(2)		
			△宿泊接客基礎論	2	△サービスマネジメント	(2)		
			△旅行実務基礎論	2	△観光経営論	(2)		
			△観光実務基礎論	2	△旅行実務論	(2)		
			△航空実務基礎論	2	△観光心理学	(2)		
			△航空キャリア実習	2	△観光人間学	(2)		
			△クルーズ実務実習	2	△観光行動論	(2)		
英語力養成科目			△観光英語IV	4	△観光英語IV	(4)		
			△観光英語IV	4	△観光英語IV	(4)		
			△観光英語IV	4	△観光英語IV	(4)		
			△観光英語IV	4	△観光英語IV	(4)		
			△観光英語IV	4	△観光英語IV	(4)		
			△観光英語IV	4	△観光英語IV	(4)		
			△観光英語IV	4	△観光英語IV	(4)		
			△観光英語IV	4	△観光英語IV	(4)		
			△観光英語IV	4	△観光英語IV	(4)		
			△観光英語IV	4	△観光英語IV	(4)		

区分	★KSU基幹教育プログラム							
	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
	授業科目(単位)		授業科目(単位)		授業科目(単位)		授業科目(単位)	
導入科目	基礎ゼミナール	(2)						
	基礎ゼミナール(フタマシセミナー)	(2)						
	導入ゼミナールI	(1)						
	導入ゼミナールII	(1)						
	情報処理実習A	(2)						
	情報処理実習B	(2)						
	★キャリア実習	(2)	★キャリア実習	(2)	★キャリア実習	(2)	★キャリア実習	(2)
	★キャリア実習	(2)	★キャリア実習	(2)	★キャリア実習	(2)	★キャリア実習	(2)
	★キャリア実習	(2)	★キャリア実習	(2)	★キャリア実習	(2)	★キャリア実習	(2)
	★キャリア実習	(2)	★キャリア実習	(2)	★キャリア実習	(2)	★キャリア実習	(2)
実践科目	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)
	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)
	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)
	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)
	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)
	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)
	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)
	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)
	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)
	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)	★実践科目	(2)
基礎科目	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)
	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)
	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)
	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)
	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)
	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)
	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)
	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)
	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)
	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)	★基礎科目	(2)
専門科目	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)
	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)
	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)
	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)
	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)
	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)
	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)
	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)
	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)
	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)	★専門科目	(2)
外国語	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)
	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)
	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)
	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)
	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)
	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)
	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)
	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)
	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)
	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)	★外国語	(2)

2	4	2	2	2	1
2	2	2	2	2	1
2	2	2	2	2	1

=124単位

専門科目について

*印は必修科目、△印は選択必修科目、○印は選択必修科目かつ全員履修科目、□印は選択科目かつ全員履修科目												
区分	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次					
	入門科目		基幹科目		展開・応用科目		卒業要件					
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位				
学部共通科目	<input type="checkbox"/> 九州地域学 <input type="checkbox"/> 経営学入門 <input type="checkbox"/> マーケティング入門	2 2 2	地域産業基礎論	2								
学科共通科目	*観光学入門Ⅰ *観光学入門Ⅱ	2 2						4単位				
	○コース入門ゼミナール	2	○ゼミナールⅠ	4	○ゼミナールⅡ	4	○卒業論文ゼミナール	8				
	○異文化コミュニケーション論入門	2	△観光データ分析	2	日本近代史	(2)		所属コースの卒業要件単位に 所属コースから6単位以上 選択必修科目30単位以上				
	○地域研究入門	2	日本史	4	日本史学特講A	(2)						
	○ロジカルライティング入門	2	外国史	4	日本史学特講B	(2)						
	○データ分析入門	2	法学概論Ⅰ	2	日本教育史	(2)						
	○情報リテラシー入門Ⅰ	2	法学概論Ⅱ(国語法を含む)	2	西洋史	(2)						
	○情報リテラシー入門Ⅱ	2	哲学	4	東洋史	(2)						
	○観光地理学入門	2			社会学特講Ⅰ	(2)						
	○経済学	2			社会学特講Ⅱ	(2)						
				管理学概論	(2)							
グローバル・ツーリズム・ホスピタリティ			○ 国際観光研修A △ 国際観光基礎論 △ アジア観光基礎論 △ コンベンション基礎論 △ マーケティング基礎論 △ 世界遺産基礎論 △ 観光英語Ⅰ △ 観光英語Ⅱ △ 観光中国語Ⅰ △ 観光中国語Ⅱ △ 観光韓国語Ⅰ △ 観光韓国語Ⅱ	4 2 2 2 2 2 4 4 4 4 4 4	△ 観光英語Ⅲ △ 観光中国語Ⅲ △ 観光韓国語Ⅲ △ Practical English △ Practical Chinese △ Practical Korean △ サービスマーケティングプロジェクト △ アジア観光振興プロジェクト △ 国際観光論 △ アジア観光論 △ MICB産業論 △ サービスマーケティング論	(4) (4) (4) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)		所属コースから6単位以上 選択必修科目30単位以上				
	デザイン・地域・観光			○ 国内観光研修A △ 社会学 △ 観光まちデザイン基礎論 △ 温泉地域基礎論 △ 九州観光基礎論 △ 観光交通基礎論 △ 観光史 △ 地誌学 △ 鉄道産業演習 △ 人工地理学 △ 自然地理学	2 2 2 2 2 2 2 4 2 4 4	△ 温泉地域研究プロジェクト △ 観光地域共創プロジェクト △ 観光地理学 △ 地域交通論 △ 観光まちデザイン論 △ 温泉地域デザイン論 △ 観光社会学 △ 観光政策論 △ 地域景観論Ⅰ △ 地域景観論Ⅱ △ 都市地理学	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)		エコツーリズム論 (2)			
		マネジメント・ホスピタリティ			○ 国内観光研修B △ 会計学基礎論 △ サービス産業基礎論 △ 観光経営基礎論 △ 宿泊産業基礎論 △ 旅行業基礎論 △ 観光産業基礎論 △ 航空産業基礎論 △ 観光心理学基礎論 △ 航空キャリア演習 △ クルーズ産業演習 △ フードマネジメント	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4	△ ホスピタリティビジネス事例研究 △ ホスピタリティ事業プロジェクト △ 旅行行動動向分析プロジェクト △ ホスピタリティ・マネジメント △ サービスマネジメント △ 観光経営論 △ ホテル経営論 △ 旅行業経営論 △ 観光心理学 △ 観光人材開発論 △ 観光行動論		(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)			
			実践力育成科目	共通	<input type="checkbox"/> 九州おもてなし実践論 <input type="checkbox"/> フィールドワーク入門	2 2	プロジェクト基礎演習 観光地域事業プロジェクト 観光振興プロジェクト 九州観光リーダー論		2 2 2 2	国際観光人材育成プロジェクト 九州観光人材育成プロジェクト	(2) (2)	16単位以上
				観光研修		国内観光研修B 海外語学研修	4 4		国内観光研究 国外観光研究	(2) (2)		
				キャリア開発	<input type="checkbox"/> インターンシップ入門 TOEICスコアアップ講座Ⅰ 旅行検定講座Ⅰ	2 2 2	<input type="checkbox"/> 観光インターンシップ <input type="checkbox"/> 就職対策講座Ⅰ(SFD) 就職対策講座Ⅱ(SFD) キャリア開発講座Ⅰ TOEICスコアアップ講座Ⅱ TOEICスコアアップ講座Ⅲ 旅行検定講座Ⅱ		6 2 2 2 2 2 4	キャリア開発講座B キャリア開発講座C	(2) (2)	

専門科目

※必修科目4単位

専門科目

△及び○選択必修科目36単位

専門科目

選択科目20単位

専門科目

実践力育成科目16単位以上

※必修科目

【前期】観光学入門Ⅰ

【後期】観光学入門Ⅱ

○全員履修科目

異文化コミュニケーション論入門、地域研究入門、ロジカルライティング入門、データ分析入門、情報リテラシー入門Ⅰ・Ⅱ、(入門ゼミは、別途希望調査あり)

□全員履修科目

九州地域学、経営学入門、マーケティング入門、九州おもてなし実践論、インターンシップ入門

基礎教育科目及び外国語科目について

★RSU基礎教育コア科目					
区分	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	
導入科目	基礎ゼミナール	基礎ゼミナール(ブライマリーセミナー)			
	導入ゼミナールⅠ	導入ゼミナールⅡ			
	情報処理解習Ⅰ	情報処理解習Ⅱ			
	★キャリア形成基礎Ⅰ	★キャリア形成基礎Ⅱ	★キャリア形成発展Ⅰ	★キャリア形成発展Ⅱ	
	★実用英語Ⅰ(文筆力)	★実用英語Ⅱ(口頭力)	★実用英語Ⅲ(伝達力)	★実用英語Ⅳ(表現力)	
	★実践的教養Ⅰ	★実践的教養Ⅱ			
	★基礎的教養Ⅰ	★基礎的教養Ⅱ			
	★英語力	★英語力養成演習Ⅰ	★英語力養成演習Ⅱ	★英語力養成演習Ⅲ	
	学生ボランティア入門	学生ボランティア入門	実践的演習Ⅰ	実践的演習Ⅱ	
	実践キャリア学Ⅰ	実践キャリア学Ⅱ	実践キャリア学Ⅲ	実践キャリア学Ⅳ	
実践科目	★日本の歴史	★世界の歴史	★低学	★日本国憲法	
	★現代の政治	倫理学	科学の世界	現代の経済	
	現代の経営	現代の経営	現代の経営	現代の経営	
	現代の経営	現代の経営	現代の経営	現代の経営	
	現代の経営	現代の経営	現代の経営	現代の経営	
	現代の経営	現代の経営	現代の経営	現代の経営	
	現代の経営	現代の経営	現代の経営	現代の経営	
	現代の経営	現代の経営	現代の経営	現代の経営	
	現代の経営	現代の経営	現代の経営	現代の経営	
	現代の経営	現代の経営	現代の経営	現代の経営	
	現代の経営	現代の経営	現代の経営	現代の経営	
	現代の経営	現代の経営	現代の経営	現代の経営	
	現代の経営	現代の経営	現代の経営	現代の経営	
	現代の経営	現代の経営	現代の経営	現代の経営	
	現代の経営	現代の経営	現代の経営	現代の経営	
	現代の経営	現代の経営	現代の経営	現代の経営	
	現代の経営	現代の経営	現代の経営	現代の経営	
	現代の経営	現代の経営	現代の経営	現代の経営	
	教育科目	★スポーツ科学演習	心の健康	健康学	
		Reading & Writing I (1)	Reading & Writing II (1)	Reading & Writing III (1)	Reading & Writing IV (1)
Reading & Writing V (1)		Reading & Writing VI (1)	Reading & Writing VII (1)	Reading & Writing VIII (1)	
Listening & Speaking I (1)		Listening & Speaking II (1)	Listening & Speaking III (1)	Listening & Speaking IV (1)	
Listening & Speaking V (1)		Listening & Speaking VI (1)	Listening & Speaking VII (1)	Listening & Speaking VIII (1)	
English Expositions (2)					
Four Skills I (1)		Four Skills II (1)	Advanced Reading & Writing I (1)	Project I (1)	
Labo Training I (1)		Labo Training II (1)	Advanced Reading & Writing II (1)	Project II (1)	
Introduction to Online English		Professional Writing Skills	Introduction to Translation	Writing for Specific Purposes	
Domestic Job Training		Overseas Job Training			
外国語科目	ドイツ語Ⅰ	ドイツ語Ⅱ	ドイツ語Ⅲ	ドイツ語Ⅳ	
	ドイツ語Ⅴ	ドイツ語Ⅵ	ドイツ語Ⅶ	ドイツ語Ⅷ	
	ドイツ語Ⅸ	ドイツ語Ⅹ	ドイツ語Ⅺ	ドイツ語Ⅻ	
	フランス語Ⅰ	フランス語Ⅱ	フランス語Ⅲ	フランス語Ⅳ	
	フランス語Ⅴ	フランス語Ⅵ	フランス語Ⅶ	フランス語Ⅷ	
	フランス語Ⅸ	フランス語Ⅹ	フランス語Ⅺ	フランス語Ⅻ	
	韓国語Ⅰ	韓国語Ⅱ	韓国語Ⅲ	韓国語Ⅳ	
	韓国語Ⅴ	韓国語Ⅵ	韓国語Ⅶ	韓国語Ⅷ	
	韓国語Ⅸ	韓国語Ⅹ	韓国語Ⅺ	韓国語Ⅻ	
	中国語Ⅰ	中国語Ⅱ	中国語Ⅲ	中国語Ⅳ	

基礎教育科目
 実践科目 2単位以上
 教養科目 4単位以上

 全体(上述を含む)で12単位以上

★コア科目
 履修を推奨する科目です。
 コア科目を中心に履修しましょう

外国語科目
 12単位(英語8単位以上)
 ※英語8単位は、英語以外の一言語8単位をもって替えることができる。

英語科目
 フレイスメントテスト結果をもとに、自分の能力に応じたクラスに編成されます。英語科目2科目が事前に登録されています。

授業時間割について

3種類あります。

①専門科目

②「基礎教育・教職・留学生の日本事情科目」
(KSU基盤教育)

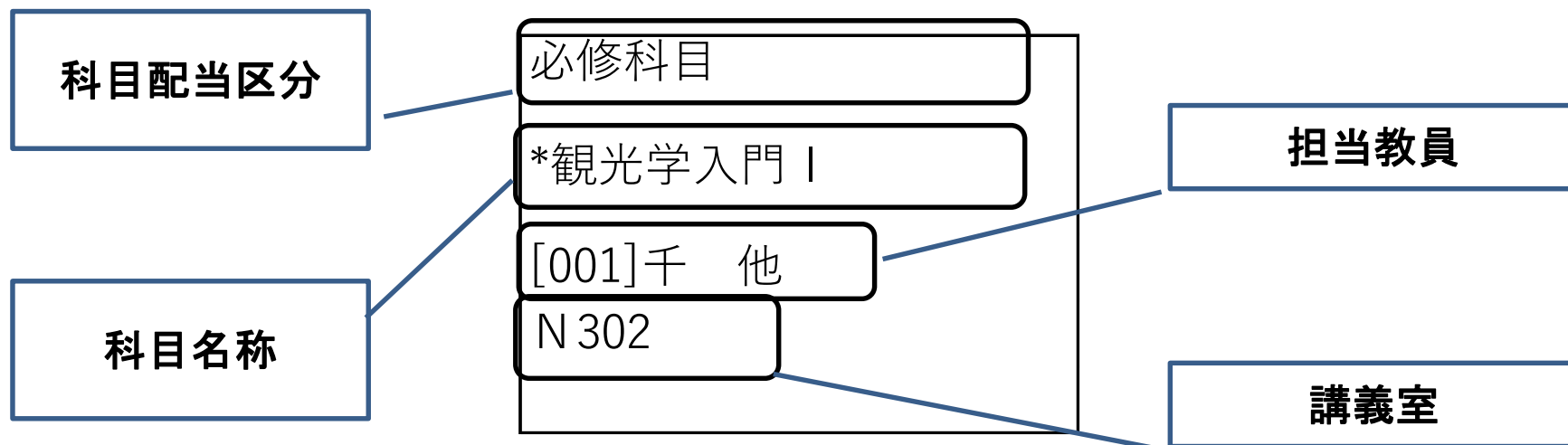
③「外国語科目・留学生の日本語科目」
(KSU基盤教育)

②及び③は、全学共通で開講されます。

※基礎教育・外国語科目時間割に記載されている科目は、
基本的にどの学部・学科であっても履修できます。(英語は決まっています！！)

・ 授業時間割表の見方

授業時間割には、**期別**（前期または後期）・**授業科目**・**担当者**・**教室**が記載されている。



*** = 必修科目**

卒業までに必ず修得しなければならない科目

授業時間割について

・ 授業時間割表の見方

全員履修科目は事前に登録しています。

(英語は、4/7(火)に仮登録されます)

(キャリア形成基礎論・スポーツ科学演習
基礎ゼミナールも事前登録します。)

※全員履修科目の内、クラス分けをしている科目もあります。
自分の履修登録画面を確認しましょう。

授業時間割について

・教室の見方について

N101	・・・	1号館1階北側	101教室
2E301	・・・	2号館3階東側	301教室
3306	・・・	3号館3階	306教室
OA2	・・・	1号館6階	OA2教室
15102	・・・	15号館1階	102教室

授業時間割を変更する場合

- ①授業が追加される
 - ②受講者数などの理由により、教室を変更する
 - ③担当者の変更など
- ※教務部HPに掲載します。

履修単位上限数について (CAP)

単位修得に必要な学修時間を確保するため、1年間に履修登録できる単位数の上限を定めています。

地域共創学部観光学科

1年次 44単位(年間)

2年次 44単位(年間)

3年次 44単位(年間)

4年次 44単位(年間)

※ 1年次配当の授業科目を**20単位以上**修得していなければ、2年生以降配当の授業科目を履修できない。

※ 1.2年次配当の授業科目を**合計36単位以上**修得し、かつ、進級試験に合格しなければ、2年次のままとし、3年次に進級することができない。

英語のクラスについて

英語クラスは能力別クラスとなっており、先日受験した英語プレイスメントテストのスコアによりクラス分けされます。

「Reading & Writing I・II」と「Listening & Speaking I・II」の4科目は、4/7(火)までに仮登録されます。

→英語クラス分け結果については、4月7日(火)に大学のポータルサイトK'sLifeを確認すること。

実用国語、数理的教養の履修について

国語プレイスメントテスト結果をもとに、国語科目を予め登録している場合があります。

以下の科目が既に履修登録されている場合、必ず履修し、単位修得できるよう頑張ってください。

「実用国語Ⅰ（文章力）」、「実用国語Ⅱ（国語力）」、「実践キャリア学修B」

数学プレイスメントテスト結果をもとに、基礎教育センターから「数理的教養Ⅰ」の履修を促す場合があります。その際は「数理的教養Ⅰ」を履修するようにしてください。

受講者数の上限数について

受講者数の上限が設定されています。

履修の画面に

- : 残数が30%以上
- △ : 残数が30%未満
- × : 残数が0%

履修については、早めに登録すること。
教室の規模に応じて、履修登録を制限しているため、教室の座席数を超えて、履修登録することができない設定となっている。



ということは、早めに履修登録しないと、履修できなくなる可能性がある……。

令和2年度新規科目について

「実践力育成演習B」(担当者:鶴田先生、松岡先生、村上先生)

「AIを使いこなす人」を育てるため、
全学共通基礎科目として、AIに関する授業を開講します。
AIの魅力と必要性を体感する授業です。
※同一授業科目名称で内容の異なる科目があるので注意すること。

「総合講座D」担当者:今村先生

「先を読む力」「論理的思考力」「コミュニケーション力」の向上を
図るため、囲碁に関する授業を開講します。
囲碁のルールを解説し、実際に対局を行います。



ホークス・スタッフが講師！
プロ野球ビジネスが学べる！
タカガールデー観戦も！

前期火曜4限
「実践キャリア演習A」
学部・学科横断型

九産大だけの特別講座

履修制限科目について

履修が制限されている科目があります。

初回授業に出席して受講許可が得られる科目

- ・実践力育成演習A
- ・スポーツ科学演習 等
- ・課題解決演習A・B

授業時間割のつくりかた

4/2(木)履修登録説明会
4/7~4/9履修登録期間
※自分で登録すること。

※時間割に、自分が履修する科目をマークしよう！！

- ①火1・水1・金1は、英語科目を履修するため、空けておくこと。
- ②その他の全員履修科目である以下に記載の科目は、教務課で事前登録をしている。履修説明会(本日)の際に自分で確認すること。
- ③実践キャリア学修Bが登録されている学生は、履修すること。
- ④基礎教育科目を選択し、マークする。
- ⑤初修外国語(中国語や韓国語など)をマークする。(状況に応じて)

※履修登録単位数の上限である44単位履修すること。

WEB履修登録説明会

※WEB履修説明会において、履修登録の仕方をお教えします。
履修登録は、4/7(火)に一斉スタート！！それまでに授業科目を選定しておくこと。

WEB履修登録説明会

時 間:4月3日(金)9:00～10:00

場 所:1号館6階OA教室1.2

※履修ガイド・授業時間割表を必ず持参すること！

前学期履修登録期間・・・4月7日(火)～4月9日(木)

前学期履修登録**変更**期間・・・4月27日(月)～4月30日(木)

後学期履修登録**変更**期間・・・9月8日(火)～9月18日(金)



「履修登録」や「履修変更」などはK'sLifeで登録を行った**翌日以降**に出力し、内容に間違いがないか必ず確認してください。

履修したら

①教科書の購入

- 履修ガイド・教科書購入一覧を参考に自分が履修した科目の教科書を確認する。
- 教科書購入申込書(OCR)を使って購入する。
- 教科書販売:4月7日(火)～ 場所:中央会館2F販売所

②授業に出席する(半期14回)

- 時間割を見て、教室を確認して、教室に入ってください。
- 教室の変更等は、K'sLifeを使って確認できます。
- 出席登録のためには学生証が必要です。

③休講・補講について

- **休講**: 授業担当者がやむ負えない理由で授業が行われない場合があります。
- **補講**: 休講した授業を補うために行う講義。

**休講・補講の情報はK'sLifeで通知します。
毎日、確認してください。**

試験について

前学期定期試験 7/25(土)～7/31(金)

後学期定期試験 1/8(金)～1/18(月)

以下に該当すると試験が受けられません！！

- ・履修登録をしていない。
- ・授業の出席回数が2分の1に満たない。
- ・修学費を納めていない。
- ・学生証を所持していない。
- ・試験に20分以上遅刻した。

定期試験時間割表は試験開始2週間前に**教務課HP**に掲載します。
必ず確認を行い、受験忘れなどしないように注意して下さい。

追試験

- ・病気その他やむを得ない事由で定期試験を受験できなかった学生に対して行う試験。
- ・追試験を申し出ることのできる要件は学生便覧で確認すること。
- ・定期試験最終日の翌日までに、所定の書類を教務課に届けること。

教職資格等について

教職・学芸員・社会教育主事・司書等 資格取得が可能

教職課程……………1年次後学期から履修開始。
1年次生を対象に7月頃教職ガイダンスを実施します。

司書・学芸員・社会教育主事…1年次前学期から履修開始

資格課程ガイダンス(司書・司書教諭・学芸員・社会教育主事)
該当学生には、K'sLifeにてお知らせしますので、
必要な手続きを行って下さい。

奨学金関連のお知らせ

「日本学生支援機構」

※高校時に申請を行い「採用候補者」となった学生が対象!!

日程	開始時間	対象学部	場所
4月2日(木)	15:00	商学部(経営管理)	1号館4階 S404番教室
	15:30	商学部(流通マーケティング)	
4月3日(金)	9:30	経済学部	1号館2階 S201番教室
	10:00	人間科学部(臨床心理・子ども教育)	
	10:30	地域共創学部(観光)	
	11:00	人間科学部(スポーツ健康科)・建築都市工学部(建築)	1号館1階 S101番教室
	14:00	地域共創学部(地域づくり)	
	14:30	建築都市工学部(都市デザイン工)	
	15:00	国際文化学部	
4月6日(月)	9:00	理工学部(情報科)	1号館2階 S201番教室
	9:30	理工学部(機械工)	
	10:00	理工学部(電気工)	
	10:30	芸術学部(生活環境デザイン)、生命科学部	
	11:00	芸術学部(芸術表現・ソーシャルデザイン)・建築都市工学部(住居・インテリア)	
	11:30	芸術学部(ビジュアルデザイン・写真映像)	

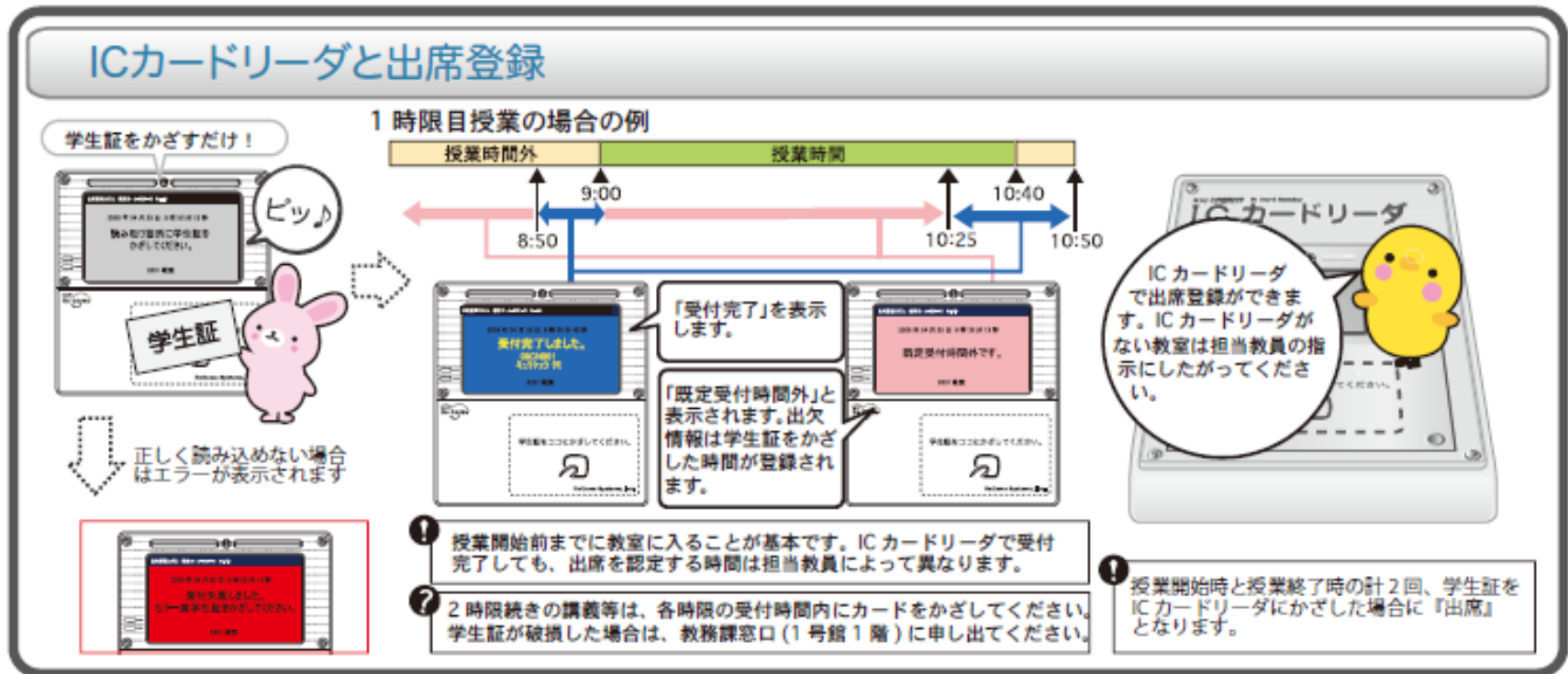
※なお、高校時に申請していない方で、日本学生支援機構奨学金の貸与を希望される方につきましては、この説明会ではなく、新規在学採用の説明会を別途開催します。掲示板等で日程・集合時間等を確認のうえ、出席してください。ご不明な点については、1号館3階の厚生課にお尋ねください。

4月22日（水） 授業開始

※履修登録変更期間は、**4月30日(木)**までですが、授業によっては出席を取り、授業の内容も進んでいきます。

受講希望の授業には必ず出席しましょう！

授業の出席について



※ICカードのかざし忘れには注意すること。

※かざす時間帯に注意すること。

チャレンジマンズについて

チャレンジマンズ

・100分授業の導入に応じて、

夏季や春季の休業期間の延長

→長期休業期間中の学外での活動を推奨

(例: 海外研修・留学、ボランティア等の社会貢献活動、インターンシップ参加など)

出席について

出席について

本学学生のデータ分析の結果、
授業全体の出席率が**80%以下**になると、単位
修得率が大きく下がることが分かっています。
→急な病気等で休まないといけないこともある
ので、普段から授業にはきちんと出席すること。

三者面談について

三者面談

- ①学期途中で出席率が低い学生については、保護者の方へ文書を送付します。
- ②連続して対象となった学生については、**警告文書、退学勧告文書**を送付します。
- ③学期末に出席率、GPA、修得単位数が低い学生については、**三者面談**を行います。
- ④改善が見られない場合については、学則に基づく**懲戒(訓告、退学処分)**を行うことがあります。



対象にならないように、授業には**必ず**出席しましょう！

各種掲示板・連絡通知について

※時間割の変更、休講・補講、教室変更、科目担当者からの連絡などは・・・

- ① K's Lifeで通知される
- ② 教務部HPに掲載される



毎日確認すること!!

教務部HPについて

教務部ホームページ

授業や時間割など教務に関する情報を掲載していますので皆さん確認をしてください。

トップページ

- 教務課からのお知らせ
教務関係のお知らせを掲載します。
- よくある質問
問い合わせが多い内容を掲載します。
- 利用の手引き
- 学籍関係
- 教務の紹介

etc.....

学部のページ

- 履修・授業・卒業に関すること
履修規程の要点を分かりやすくまとめました。
卒業要件や履修のルールを確認してください。
- 時間割
授業の時間割を掲載しています。
試験前は試験時間割を掲載します。
- 学部からのお知らせ
教務関係のお知らせを掲載します。

etc.....

<http://www.eas.kyusan-u.ac.jp/>



本日以降の予定について

4/3(金)

9:00～10:00:履修登録説明会<OA教室1.2>

10:30～11:00:奨学金説明会<S201教室>

4/22(水)授業開始

※詳細は、新入生オリエンテーション等日程表を確認すること

最後に

時間割、履修、授業など分からないことがあったら、すぐ教務課へ!!

092-673-5593

LA(ラーニング・アシスタント)制度を導入している。LA(先輩)がいるゼミは、積極的にLAを活用すること!!

分からないことを
分からないままにしないこと。
必ず聞くこと。

コロナウイルス感染症拡大に伴う 本学の対応について

K' s Life、HPで随時情報を更新していますので、必ず確認するようにしてください。
大学への出校等に関わる本学の方針に従い、各自、自己防衛に努めてください。